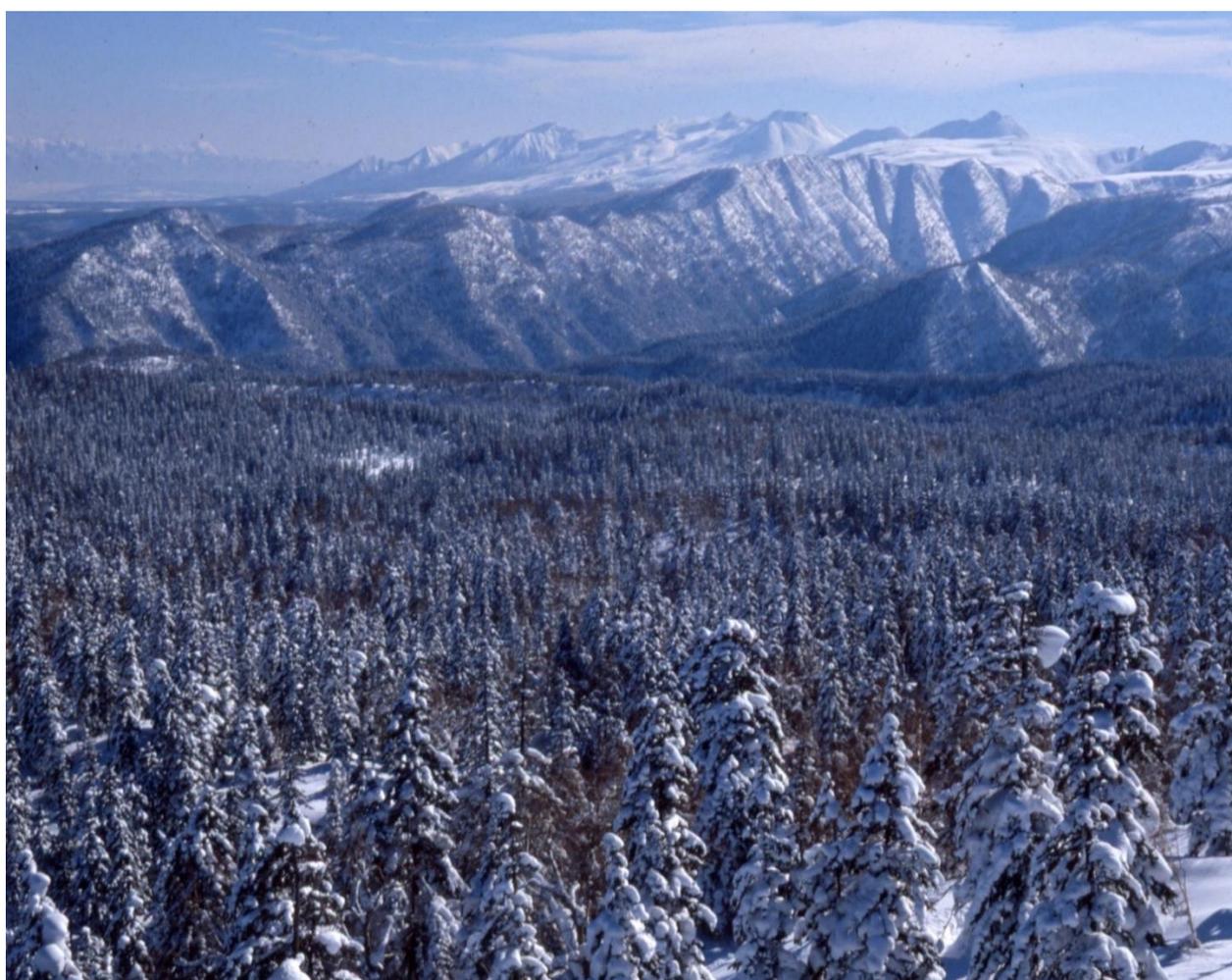


令和6年度

# 管内概要



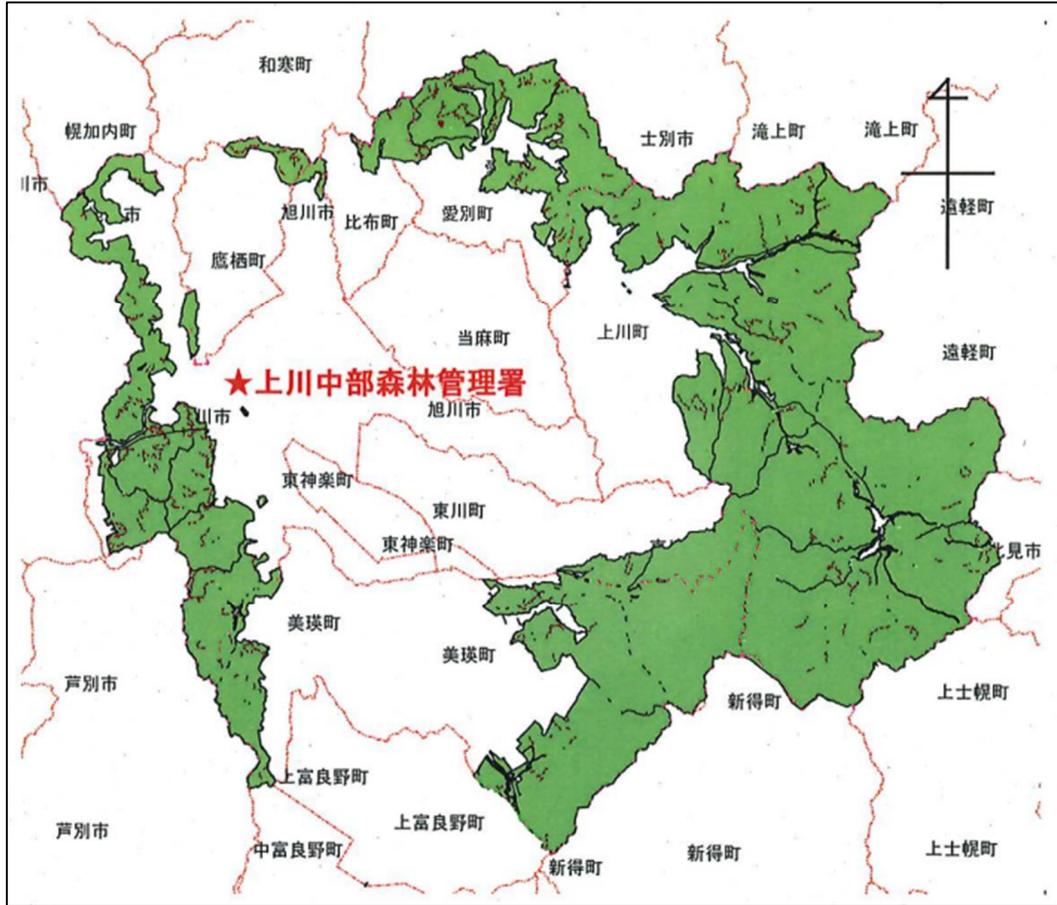
勇駒別の森林



林野庁 北海道森林管理局

上川中部森林管理署

# 管内位置図



## 市町村別森林面積

市町村名 <1市8町>	人口	面積 (ha)	森林面積 (ha)	うち国有林面積 (ha)	備考
旭川市	324,186	74,766	40,147	23,811	
鷹栖町	6,666	13,942	6,347	1,395	
比布町	3,505	8,690	4,430	1,593	
愛別町	2,569	25,013	20,571	13,938	
上川町	3,202	104,924	99,131	81,633	
東川町	8,601	24,706	18,663	4,250	
美瑛町	9,573	67,678	46,558	32,249	
東神楽町	9,945	6,850	1,421	-	
当麻町	6,174	20,494	13,382	-	官行造林41.19ha
計	374,421	347,063	250,650	158,869	

※1 人口は、令和5年度住民基本台帳人口・世帯数（令和5年1月1日現在）より抜粋

※2 市町村森林面積は、各市町村森林整備計画書（令和6年4月～）より抜粋

※3 国有林面積は「上川南部国有林の地域別の森林計画書」（令和6年4月～）より抜粋

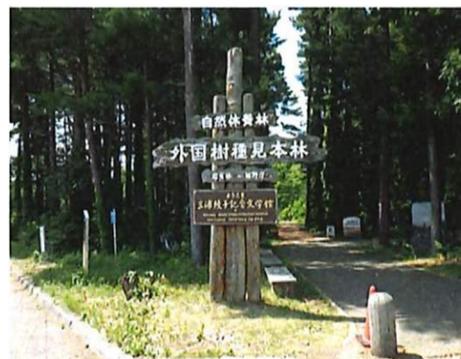
# I 管理経営の基本

## 1 概況

当署の管内は、北海道のほぼ中央部、石狩川の源・中流域に位置しています。

森林は、山岳部を中心に国内でも有数の針葉樹と広葉樹が混ざった天然林地帯となっており、その多くは大雪山国立公園をはじめとする公園地域等になっています。湿地、高山帯等、特殊な立地条件の下に成立している植物群落も多く、学術的な価値が高いことから「森林生態系保護地域」等の保護林の設定も行っています。

大雪山系は、十勝岳をはじめとする道内有数の火山地帯であり、山地災害防止機能の発揮が求められている地域でもあります。



外国樹種見本林

また、旭川市街地周辺には、嵐山神居自然休養林や外国樹種見本林があり、市民の憩いの場として親しまれています。なお、外国樹種見本林は、三浦綾子記念文学館とともに、平成30年11月1日に北海道遺産(NPO北海道遺産協議会)に選定されています。

## 2 管理経営の基本的な考え方

森林・林業や国有林野事業に対する国民の多様な要請と期待の下に、①国土の保全、その他国有林野の有する公益的機能の増進を図るとともに、②林産物を持続的かつ計画的に供給し、③国有林野の活用により、所在する地域の産業振興又は住民福祉の向上に寄与することを目標として、事業実行の効率化と併せて簡素化かつ効率的な体制の整備を図りつつ、次の方針に即した管理経営を行います。

- （1） **公益重視の管理経営の一層の推進**
- （2） **民有林との連携の下での森林・林業再生に向けた貢献**
- （3） **国民の森林としての管理経営**

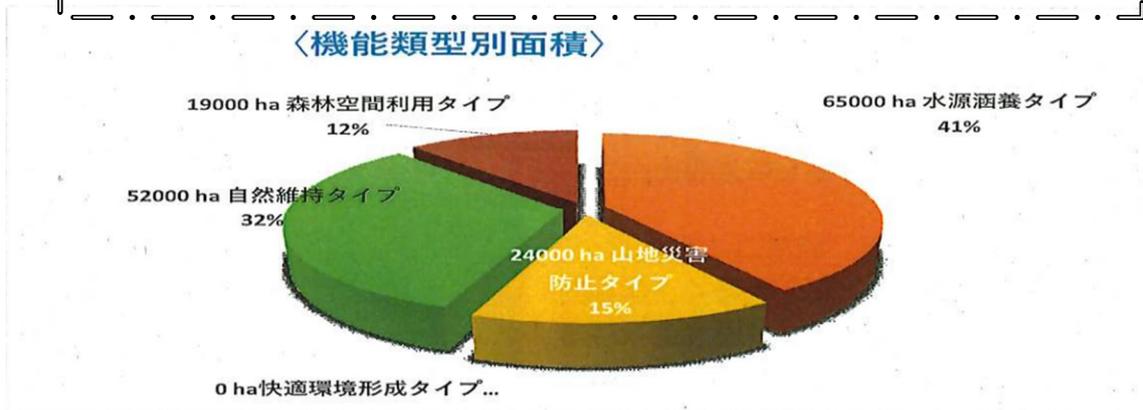
# II 国有林の現況

## 1 機能類型区分

森林には国土の保全、水源の涵養、保健・文化、木材生産など多様な機能があります。これらの機能を踏まえ、森林を5つの機能類型に区分し、公益的機能の維持増進に重点を置いた管理経

営を進めています。

- ・ **山地災害防止タイプ** ・ ・ ・ 山地災害防止及び土壌保全機能、防風、防雪等の機能を有する森林
- ・ **自然維持タイプ** ・ ・ ・ 原生的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林など生物多様性を保全すべき森林
- ・ **森林空間利用タイプ** ・ ・ ・ 保健、レクリエーション、文化機能の発揮を優先すべき森林
- ・ **快適環境形成タイプ** ・ ・ ・ 快適な環境形成機能を有する森林
- ・ **水源涵養タイプ** ・ ・ ・ 水源の涵養機能を有する森林



## 2 人工林・天然林別面積

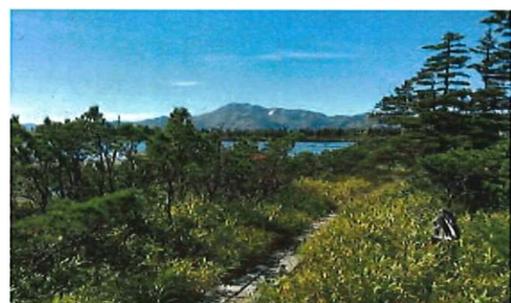
(単位：ha)

区分	人工林			天然林			林地以外	合計
	単層林	複層林	小計	育成天然林	天然生林	小計		
面積	27,053	3	27,056	25,470	82,360	107,830	23,983	158,869

※人工林率 20% (林地面積に対する比率) 林地以外は、主として高山帯

## 3 保安林・公園等

(単位：ha)



保安林				国立公園	レクリエーションの森	史跡・名勝 鳥獣保護区
水源かん養	土砂流出防備	その他	計			
149,932	7,501	570	158,003	77,903	4,472	18,581/245

#### 4 保護林

種類	名称	面積 (ha)
森林生態系保護地区	大雪山	36,745.43
生物群集保護林	大雪原生林生物群集保護林	526.69
	大雪山系高山帯生物群集保護林	1,340.49
希少個体群保護林	旭川チョウセンカラマツ遺伝資源	9.74
	神居古潭カツラ等遺伝資源	14.36
	中越ダケカンバ遺伝資源	55.34
	大雪石狩エゾマツ遺伝資源	69.75
	層雲峡シロエゾマツ遺伝資源	1.90
	朗根内カンバ類遺伝資源	11.85
	美瑛チョウセンヤマナラシ遺伝資源	3.58
	美瑛カンバ類遺伝資源	22.54
	旭川シウリザクラ等遺伝資源	41.11
	十勝岳泥流跡地植生	253.53

#### 5 地域振興

##### (1) レクリエーションの森

昭和48年度に「レクリエーションの森」創設して以来、森林浴、自然観察、野外スポーツ等の多様な森林とのふれあいの場の提供を通じて、国民生活の推進に寄与してきました。

平成31年度から下表のとおり、8か所となっています。これらのレクリエーションの森の整備・管理については、地元自治体及び地域関係者等（管理運営協議会）の協力を得て進めています。

区分	名称	地域
風景林	上川浮島	上川町
自然休養林	嵐山・神居	旭川市、鷹栖町、（深川市）
	白金	美瑛町
風致探勝林	層雲峡	上川町
	天人峡	東川町
	旭岳	東川町
森林スポーツ林	東川青少年野営場	東川町
野外スポーツ地域	カムイスキーリンクス	旭川市

※上川浮島、嵐山・神居自然休養林、白金自然休養林は、平成29年4月



風景林（浮島）



風致探勝林（層雲峡）

## (2) 協定締結による国民参加の森林づくり

種類	場所	名称等	協定者
游々の森	白金国有林（美瑛）	大雪青少年交流の森	国立大雪青少年交流の家
社会貢献の森	見本林国有林（旭川）	旭川森人の会の森	旭川林業土木協会

※令和6年4月1日より令和11年3月31日までの5年間

## Ⅲ 令和5年度の主な取組

### ○造林・保育の低コスト化に向けた取組

令和5年7月に大面積で機械下刈りを実施し、取組結果についてとりまとめを行い技術交流発表会でポスター発表しました。

また、多様な植栽密度におけるコンテナ苗の成長比較、多様な下刈方法が苗木の生長に及ぼす影響、緩効性肥料を施用したコンテナ苗の成長比較を行い、造林・保育のコスト縮減に向け引き続き調査していきます。



緩効性肥料を施用したコンテナ苗試験区

### ○木材の利用促進と安定供給

素材の安定供給（システム販売）及び委託販売を行っています。



年度	総販売数量	システム販売量	(単位:m3)	
			比率	
R元	22,257	12,020	54.0	
R2	19,978	6,435	32.2	
R3	22,744	12,694	55.8	
R4	22,028	13,682	62.1	
R5	23,939	11,752	49.1	

### ○路網の整備

森林の整備や木材の搬出を行うため、林道や土場は不可欠な基盤整備であり、当署では、森林経営に必要な林道等の新設・改良・維持管理などを計画的に行っています。



天幕小屋の沢林道



越熊の沢林道

### ○森林生態系の保護・保全

平成 29 年度のボランティア巡視員制度創設以降、今日まで継続的に巡視活動を実施しています。

令和 4 年 2 月には任期の更新を行い、向こう 3 年間(令和 4 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)の委嘱を行いました。また、グリーン・サポート・スタッフ (GSS) による登山シーズン時期の入林者へのマナー啓発、標識や歩道の簡易整備等、きめ細やかな保全管理活動を進めています。



グリーン・サポート・スタッフ



GSS による木道修繕の様子

### ○木育・森林環境教育及びフィールドの積極的活用

神楽小学校 4 年生が、外国樹種見本林において校外学習を行い、見本林の歴史などを学びました。また、道立北の森づくり専門学院の 1、2 年生を対象に 2 日間にわたり生産と造林の「一貫作業システムについて」の講義と現地実習を行いました。

各種要請に応え、木育を交えた森林学習に講師を派遣しています。

また、自ら森林づくり、森林保全活動、林業体験等を行いたいとする機関・団体と国民参加の森林づくり協定を締結し、保全整備に取り組んでいます。



神楽小学校の校外学習の様子



北森学院生への講義の様子

○民国連携の取組

当署では、①市町村森林整備計画実行管理推進チームへの参画、②上川総合振興局との連携した取組等を行っています。



上川地域林政連絡会議



市町村実行管理推進チーム会議

○安心・安全な暮らしの確保

十勝岳は大正 15 年の噴火により大規模な泥流が発生し尊い人命が失われるなど、下流地域へ甚大な被害を及ぼしました。



十勝岳導流堤

また、30～40 年周期で噴火を繰り返し、直近では平成 16 年にごく小規模の噴火をするなど火山活動は依然として活発に続いています。

このようなことから、山地災害から国民の生命・財産を保全し、安全で安心して暮らせる国土づくり、豊かな水を育む森林づくりを推進することを目的として治山事業を行っています。

IV 令和 6 年度 主要事業量

事業の概要

区分		単位	R5 実行数量	R6 予定数量	備考
販売量	立木販売	m <sup>3</sup>	11,700	11,200	分収造林等含む
	製品販売		22,800	59,900	
造林	更新	ha	23	37	補正含む
	保育		191	171	
林道	新設	m	2,200	3,600	
治山事業		百万円	691	691	補正含む

注 1：造林の更新は、新植、改植、点 1 地拵の合計である。

注 2：造林の保育は、下刈、つる切、除伐、除伐 2 類、保育間伐(高齢級含む)、根踏の合計である。

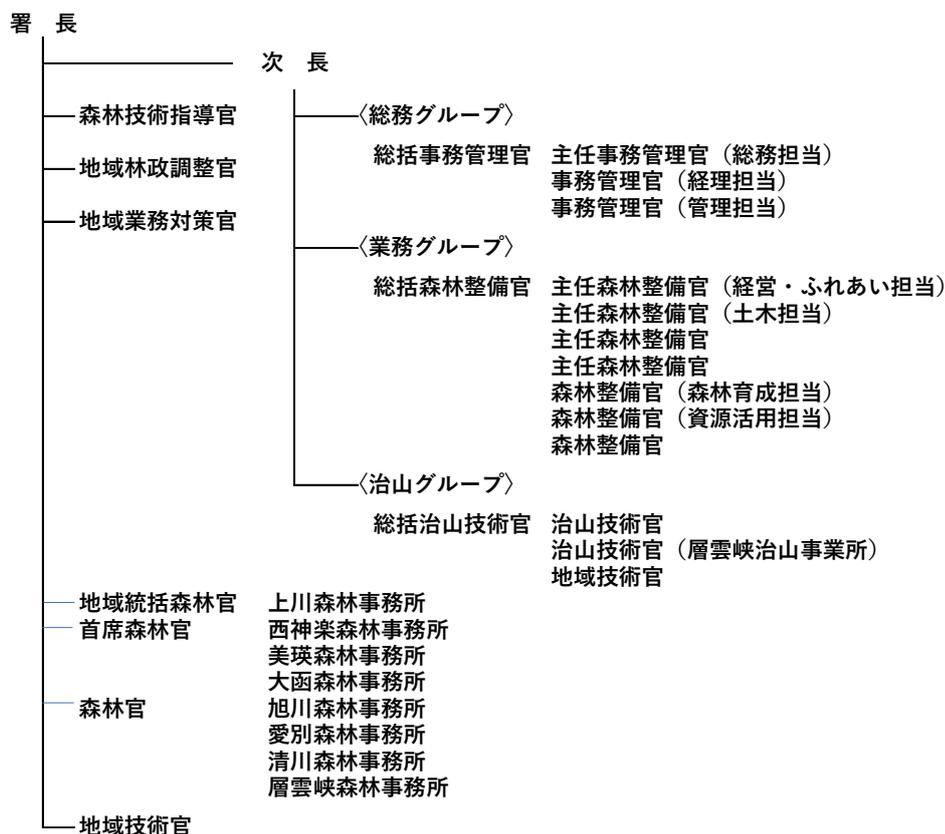
## ○ 沿 革

- 明治41年4月 旭川町に上川営林区署を設置
- 大正 8年4月 旭川営林区署に改称
- 昭和22年5月 旭川営林局旭川営林署となる（林政統一）
- 昭和54年1月 旭川営林支局旭川営林署となる
- 昭和57年3月 神楽営林署を統合
- 平成11年3月 上川中部森林管理署となる
- 平成13年8月 美瑛事務所を統合
- 平成16年4月 上川事務所を統合
- 平成25年4月 一般会計化に伴い組織再編
- 平成27年1月 庁舎を旭川事務所へ移転



耐震工事後の庁舎

## ○ 組織図





林野庁 北海道森林管理局 上川中部森林管理署

〒070-8003 旭川市神楽3条5丁目3-11

TEL (0166) - 61 - 0206

[http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/introduction/gaiyou\\_syo/kamikawatyuubu/index.html](http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/introduction/gaiyou_syo/kamikawatyuubu/index.html)